

岐阜新聞真学塾

出題 蜚雪ゼミナール

則武校・船橋巧



全科目を指導しています。英語の学習を通じて、全科目に通じる勉強法を紹介します！

問題【英語】

動詞の形に注意しながら、日本語に合うように、() に適切な語句(1語とは限りません)を入れてください。

(1) 明日晴れたら、野球をしよう。

Let's play baseball if it () fine tomorrow.

(2) 晩ご飯を食べる前に、手を洗いなさい。

Wash your hands before you () dinner.

(3) いつここから出発するのか教えてください。

Can you tell me when you () here?

豆知識 雑学コラム

文法も生き物だ

今回の問題は全て、() に入るのがすべて未来のことになっています。しかし、will + 動詞の原形、が正解になっているのは1つだけです。それはなぜでしょうか。

英語の時制に関して、高校で習う最重要ルールの一つに「時や条件を表す副詞節では、未来のことも現在時制で表す」というものがあります。この「時や条件を表す副詞節」とは、if「もし～なら」やwhen「～するとき」などの接続詞と、その後ろの<主語+動詞+…>の部分をもとめたものを指し、(1)のif以下や(2)のbefore以下などがそうです。そのため、(1)はwill beではなくisが、(2)はwill have (またはwill eat) ではなくhave (またはeat) が正解になります。逆に、(3)のwhen以下は副詞節ではなく、名詞節「いつ～するか」です。名詞節の場合、未来のことには未来を表す表現を使うので、will leaveが正解です。

このルールですが、実は昔の英語では全く違っていました。シェイクスピアの名作『ロミオとジュリエット』の中の一節に、現在の語句に直すとIf love be blind, love cannot hit the mark. (恋は盲目というのなら、恋は標的を射抜けない) というものがあります。ここでは、if節の中の動詞は、先日のコラムで取り上げた「原形」ですね。昔の英語は動詞の形の変化が非常に複雑でした。たとえばifやwhenなどの接続詞以下の部分では、接続法と呼ばれる特別な活用を使っていたし、主語によっても動詞の形が変わっていました(下表参照)。先日取り上げた不定詞や命令文も、すべて別の形だったのです。現在の英語ではこれらが単純化され、時制に関わる変化と3人称単数現在形のsのみが残っています。

例: steal	法・時制	1人称単数	2人称単数	3人称単数	複数人称
現代英語 (原形steal)	現在	steal	steal	steals	steal
	過去	stole	stole	stole	stole
古英語 (原形stelan)	直説法現在	stele	stilst	stīl ð	stela þ
	直説法過去	stæł	stæle	stæl	stælon
	接続法現在	stele	stele	stele	stelen
	接続法過去	stæle	stæle	stæle	stælen
	命令法	stel	stel	stel	stela þ

今回は英語で、時と共に言語が単純化していることを触れました。実は、日本語でも同じような単純化が起きている。これを意識すると、古典の勉強もはかどる…かも？

【解答】

(1) is (2) have (またはeat) (3) will leave